

コメント

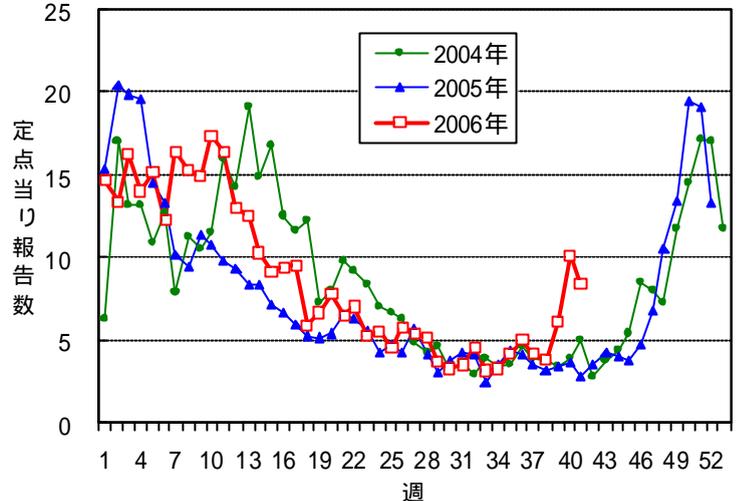
1. 感染性胃腸炎

定点当り8.33人とやや減少していますが、例年同時期と比べてかなり多くなっています。安芸区12.5人、中区11.7人、佐伯区10.7人となっています。

2. マイコプラズマ肺炎

5人 (定点当り0.71人) 報告されており、例年同時期と比べて多い状態が続いています。

感染性胃腸炎



5類感染症報告状況 (定点把握対象分)

疾患名	報告数	定点当り	平均去5年(注1)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均去5年(注1)	発生記号
インフルエンザ(注2)	-	-	0.01		麻疹(注3)	-	-	0.03	
咽頭結膜熱	2	0.08	0.10		流行性耳下腺炎	6	0.25	0.99	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	17	0.71	0.68	◁	RSウイルス感染症	-	-	-	△
感染性胃腸炎	200	8.33	3.18	◁	急性出血性結膜炎	-	-	-	
水痘	5	0.21	0.82		流行性角結膜炎	3	0.38	1.23	
手足口病	3	0.13	0.33		細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
伝染性紅斑	3	0.13	0.13		無菌性髄膜炎	-	-	0.32	
突発性発疹	14	0.58	0.81		マイコプラズマ肺炎	5	0.71	0.43	
百日咳	-	-	0.01		クラミジア肺炎(注4)	-	-	-	
風疹	-	-	0.01		成人麻疹	-	-	-	
ヘルパンギーナ	3	0.13	0.14						

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1.2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.1.5~2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1.1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少ないなど、傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注1) 過去5年間の同時期平均 (定点当り)
 (注2) 高病原性鳥インフルエンザを除く
 (注3) 成人麻疹を除く
 (注4) オウム病を除く

1類 ~ 5類感染症報告状況 (全数把握対象分)

報告はありません。

5類感染症報告状況の推移 (定点把握対象分)

報告数	広島市	週	インフルエンザ (注1)	咽頭結膜熱 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (注2)	流行性耳下腺炎	RSウイルス 感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア肺炎 (注3)	成人麻しん	
			総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
報告数	広島市	第37週	-	14	13	98	8	5	3	21	1	-	3	-	5	-	-	9	-	1	2	-	-
		第38週	-	3	12	89	11	5	6	16	-	-	1	-	8	-	-	5	-	-	4	-	-
		第39週	-	4	37	147	10	10	10	12	1	-	-	-	5	-	-	10	-	-	5	-	-
		第40週	-	3	24	243	15	2	5	15	2	-	4	-	3	1	-	7	1	-	10	-	-
		第41週	-	2	17	200	5	3	3	14	-	-	3	-	6	-	-	3	-	-	5	-	-
定点当り	広島市	第37週	-	0.58	0.54	4.08	0.33	0.21	0.13	0.88	0.04	-	0.13	-	0.21	-	-	1.13	-	0.14	0.29	-	-
		第38週	-	0.13	0.50	3.71	0.46	0.21	0.25	0.67	-	-	0.04	-	0.33	-	-	0.63	-	-	0.57	-	-
		第39週	-	0.17	1.54	6.13	0.42	0.42	0.42	0.50	0.04	-	-	-	0.21	-	-	1.25	-	-	0.71	-	-
		第40週	-	0.13	1.00	10.13	0.63	0.08	0.21	0.63	0.08	-	0.17	-	0.13	0.04	-	0.88	0.14	-	1.43	-	-
		第41週	-	0.08	0.71	8.33	0.21	0.13	0.13	0.58	-	-	0.13	-	0.25	-	-	0.38	-	-	0.71	-	-
全国	第39週	0.01	0.35	1.03	3.21	0.67	0.91	0.21	0.77	0.02	-	0.21	-	1.05	-	0.02	1.06	0.02	0.05	0.52	0.02	-	
	第40週	0.01	0.30	1.04	3.46	0.55	0.85	0.23	0.70	0.01	-	0.16	-	1.00	-	0.01	0.90	0.01	0.02	0.55	0.02	-	

(注1)高病原性鳥インフルエンザを除く (注2)成人麻しんを除く (注3)オウム病を除く

5類感染症報告状況の推移 (STD (性感染症) 基幹定点月単位報告分)

報告数	広島市	月	STD 性感染症 定点												基幹定点								
			性器クラミジア 感染症			性器ヘルペス ウイルス感染症			尖圭コンジローマ			淋菌感染症			メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症			ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症			薬剤耐性 緑膿菌感染症		
			総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
報告数	広島市	8月	16	5	11	11	5	6	5	0	5	19	18	1	48	32	16	1	1	0	5	4	1
		9月	23	14	9	9	5	4	5	1	4	14	11	3	56	33	23	4	0	4	1	1	0
定点当り	広島市	8月	1.78	0.56	1.22	1.22	0.56	0.67	0.56	0.00	0.56	2.11	2.00	0.11	6.86	4.57	2.29	0.14	0.14	0.00	0.71	0.57	0.14
		9月	2.56	1.56	1.00	1.00	0.56	0.44	0.56	0.11	0.44	1.56	1.22	0.33	8.00	4.71	3.29	0.57	0.00	0.57	0.14	0.14	0.00
	全国	9月	2.88	1.25	1.64	0.93	0.36	0.57	0.59	0.33	0.26	1.19	0.95	0.24	4.01	2.46	1.55	0.49	0.29	0.20	0.16	0.10	0.05

定点数 STD定点9 基幹定点7

新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者 年齢	性別	発症 年月日	検査材料	検出病原体
感染性胃腸炎	3	男	2006/09/08	糞便	パレコウイルス
ヘルパンギーナ	0	男	2006/08/04	咽頭拭い液	エンテロウイルス(未型別)
無菌性髄膜炎	8	女	2006/09/04	髄液	エコーウイルス8型

ノロウイルスによる感染性胃腸炎に注意しましょう。

感染性胃腸炎が、9月下旬ごろから、この時期としてはかなり多くなっています。

また、衛生研究所の検査で、9月の感染性胃腸炎の患者からノロウイルスが検出されており、ノロウイルスによる感染性胃腸炎が増加していると考えられます。ノロウイルスは感染力が強く、少量のウイルスでも感染しますので、学校・保育園・福祉施設などの集団生活の場では、集団発生を引き起こしやすいといわれており注意が必要です。

予防のポイント

- 手洗い・うがいの励行
- 糞便・吐物の取扱いに注意
- 食品の十分な加熱

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail eiken@city.hiroshima.jp